

オーラルプラセンタ医学研究会解散のお知らせ

拝啓

新緑の候 会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、オーラルプラセンタ医学研究会（以下、研究会）は 2013 年の発足以来、会員の皆様のご理解とご協力のもと、今日まで活動を続けてまいりましたが、諸般の事情により来る 8 月 31 日を持ちまして研究会を解散する運びとなりましたことをご報告いたします。

以下、経緯についてご説明いたします。

研究会は、胎盤（プラセンタ）の正しい知識の普及と歯科医療における胎盤（プラセンタ）療法の基礎的、臨床的探究を行い、活動を通じて口腔衛生の確立と健康寿命の獲得に寄与する目的で、2013 年 9 月に発足しました。そこから約 10 年、東京、大阪、福岡を中心に全国各地で講演会を開催し、コロナ禍ではリモート講演を行うなど、新たな活動方法を取り入れながら続けてまいりました。

発足から会員の皆様からの入会金と協賛企業からの運営協力金（寄付）で運営してまいりましたが、運営にかかる様々な費用の高騰を受け、2022 年から年会費を導入。これにより、これまでの活動を維持しながら、より多くの情報提供が可能となる会員専用のウェブサイトを立ち上げるなど新たな環境を整えてまいりました。しかし、プラセンタを取り巻く環境は年々厳しくなりました。特に 2020 年の新型コロナウイルス感染症のパンデミック、さらに 2023 年 2 月メルスモン注射薬の 1 年間出荷停止という非常に厳しい状況に陥り、本研究会の協賛企業側からの十分な支援を受ける事が難しくなりました。

以上のことから、会員獲得の機会の減少、運営予算の縮小が余儀なくされ、研究会の継続が困難になりました。突然の解散でご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

約 10 年に亘る研究会の活動にご協力いただきました皆様へ敬意と感謝の意を表し、ご挨拶いたします。8 月末までは変わらず活動を続けてまいりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

敬具

令和 5 年 5 月 26 日
オーラルプラセンタ医学研究会 会長 廣田 健